

シラバス参照

お気に入りシラバス > シラバス参照

科目ナンバリングについて
こちらを参照してください。
講義コード
0043005-21
授業科目名
English Speaking [ED(9)]
授業科目名 (英字)
English Speaking [ED(9)]
時間割
後期 金曜日 5校時 L-3 2 3
対象年次及び学年
1年次
担当教員
長井 克己
ナンバリングコード・水準
B2
ナンバリングコード・分野
ENG
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー (DP)
abx
ナンバリングコード・提供部局
G

ナンバリングコード・対象学生
1
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応
N
ナンバリングコード・授業形態
Ex
ナンバリングコード・単位数
1
関連授業科目
主題科目 領域 経済・社会・文化
履修推奨科目
Academic English I/II
学習時間
授業90分×15回 + 自学自習（準備学習（15時間） + 事後学習（15時間））
授業の概要
幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。
授業の目的
この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。
到達目標
1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。 2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。 3. 英語で3分間程度のスピーチを行うことができる 1～3は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。
成績評価の方法

Speech 1: 30%

Speech 2: 30%

(中間と期末の2回, 教科書から1つテーマを選び, 2分間英語でスピーチをする。

第1回目の授業で配布する Rubric (原稿棒読みをしない, 結論が明快, AIにないオリジナリティ, の3項目を5段階で15点満点) を2倍して30点で採点。)

In-class effort: 40%

(教室での活動と, 原稿・スライド・課題等の提出)

成績評価の基準

成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。

秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。

優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。

良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。

可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。

不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。

ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。

合格又は了 到達目標を達成している。

不合格 到達目標を達成していない。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

「ひと」「場所」「もの」などのテーマについて、テキストを使用したコミュニケーション活動を行い、英語を話すことに慣れていきます。教科書に現れる表現の中から、自分のスピーチに使えるような表現や語句を毎週メモして覚えます。成果発表として、英語スピーチ大会を2回行います。

【授業計画】

wk 1 (10/4): introduction to the course / Getting Ready

wk 2 (10/11): Good friend 1

wk 3 (10/18): Good friend 2

wk 4 (11/1): Favorite place 1

wk 5 (11/8): Favorite place 2

wk 6 (11/15): Prized possession 1

wk 7 (11/22): Prized possession 2 / Script due

(moodleへ「学籍番号.pdf」提出)

wk 8 (11/29): Speech 1

wk 9 (12/6): Memorable experience 1

wk 10 (12/13): Memorable experience 2

wk 11 (12/20): I'll show you how 1

wk 12 (1/10): I'll show you how 2

wk 13 (1/15, Wed): Screen magic 1

wk 14 (1/24): Screen magic 2 / Script+Slide (with a graph) due

(moodleへ「a学籍番号.pdf」(原稿)と「b学籍番号.pdf」(スライド)提出)

wk 15 (1/31): Speech 2

【授業外学習に関するアドバイス】

教科書のビデオを繰り返し視聴し、一緒に声を出して練習してください。

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition,
ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.

オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。
ビデオの聞き取れない箇所は配付スクリプトで確認し、知らない語を辞書で調べて覚えてください。

第1回スピーチ大会の前週正午までに、moodle経由で原稿を提出。

ワードで英文を作成し、保存時にファイル名を（Mの入った）「学籍番号」、ファイル形式を「pdf」にしてください。「23M999.pdf」など。

第2回スピーチ大会の前週正午までに、原稿（「a学籍番号.pdf」）と、スクリーンに映す「b学籍番号.pdf」の2つのファイルを提出（学籍番号の前に半角のa/bを付けてください）。「a23M999.pdf」と「b23M999.pdf」の二つのファイルです。スクリーン投影用のスライドは横向きA4サイズで、必ずグラフを1つ含めること。授業時に見本を配ります。

* 基本的に、担当教員は英語で授業を行います（文法や単語等の説明を除く）。

参照ホームページ

出版社ウェブページで、ビデオと音声ファイルを利用します

https://cambridge-university-press.jp/material/present_yourself/

スピーチ原稿とスライド（第2回のみ）の提出は

(moodle, "English Speaking ED9 (nagai) [ED(9)] 2024")

<https://kadai-moodle.kagawa-u.ac.jp/course/view.php?id=16550>

Laptopで辞書を引こう

<https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/nagai/dic.htm>

メールアドレス

教員の実務経験との関連